



「勝っても負けても心はむてき」須二小運動会

今年度は、校舎改築で校庭が使用できないため、須賀川アリーナでの開催になりました。運動会を須賀川アリーナで実施した小学校は本校が初めてです。会場や駐車場、観客席からの応援などなど施設面での問題はいろいろありましたが、多くの来賓の方々や保護者・地域の方々にお越しいただき、盛大に運動会を実施することができました。

今年の運動会のスローガン「勝っても負けても心はむてき」(アイディア 3年2組渡部雫君)の言葉通り、勝っても負けても自分の力を精一杯発揮するこどもたちの姿(心は無敵な姿)が印象的でした。また、審判・放送・準備・救護など各係の5・6年生の子どもたちも、担当教師の指示をよく聞きながらきびきびと仕事をしていました。とりわけ小学校最後となる6年生の活躍ぶりは、素晴らしかったです。その姿は下級生の良き手本となっており、須二小の底力の源は6学年にあることを実感しました。

このような運動会が実施できたのは、子どもたちの頑張りはもちろんですが、あたたかな拍手と声援をおくってくださった来賓の皆様、地域・保護者の皆様、お手伝いをしてくださったPTA役員、厚生給食委員会の皆様、さらには駐車場を快く貸してくださった須賀川信用金庫・卸センターの皆様等々、たくさんのご協力があったからです。心から感謝申し上げます。

さて、私にも運動会の思い出が2つあります。「白い足袋」と「手作りののり巻といなりずし」です。私が小学校低学年のときは「白い足袋」を履いて運動会に参加したことを覚えています。父が撮ってくれた当時の運動会の写真を見ると確かにどの子も「白い足袋」を履いています。徒競走になると裸足で走っていた子どもも結構いました。なぜ、運動会のためだけに白い足袋を履かされたのか、理由は定かではありませんが、価格や安全性、動きやすさなどが考慮されていたのかもしれませんが。その白い足袋を履くと「よし、頑張るぞ!」という闘争心が沸き起こったことを覚えています。

もう一つは、両親が作ってくれた「のり巻きといなりずし」です。風呂敷につつまれたすし桶にたくさんの「のり巻きといなりずし」が入っていたのを記憶しています。朝早くから起きて作ってくれていたのです。また、当時玉子は高級品だったので、あまり食べることもなかったのですが、運動会の日は特別でした。のり巻きの中身は、たくあんや白菜の漬物のかわりに、玉子焼きやかんぴょうがいっぱい入っていました。校庭にひいたシートの上(地面はかたかった)で食べる家族との昼食は最高でした。

私の小学校時代以前からずっと運動会という学校行事は続いています。現在では子どもたちの服装もお昼の弁当もずいぶん変わってきました。豊かな時代になってきました。昔は、参加したり、見学に來たりする父親もそれほど多くなかったような気がします。今は沢山のお父さん方が、カメラやビデオ片手に運動会を楽しみにやってきます。目に見える物の様子や形は違っていても、きっと、今も昔も運動会に対するそれぞれの人たちの思いは変わらないのだろうと思います。新しい校舎のもと、広々とした須二小の校庭で運動会が開催できる日を心待ちにしています。



昭和40年須二小運動会
白い足袋を履いています。裸足の子もいます



昭和40年須二小運動会 騎馬戦

須二小 大運動会 イン 須賀川アリーナ(9日)



5・6年生による鼓笛演奏



優勝トロフィー参加賞授与



1・2年生による紅白玉入れ



5・6年生による大玉競争



1・2年生のダンス RPG



3・4年生によるよさこいソーラン



3・4年生による北星マメタイフーン



1年生による開式の言葉

思い出つまった運動会 6年2組 岩崎 心海

今日は、新学期がスタートして最初の大イベント運動会です。天気は少し肌寒く雨も降っていましたが、しかし、今年はアリーナでの運動会ということで、私はとてもワクワクしていました。でも一つだけ不安がありました。それは、プログラム1番のラジオ体操です。私は体育委員長なので全校生に指示を出す役だからです。「最初から失敗したらどうしよう。」という不安がありました。でも時間が過ぎるのはとても早くすぐに開会式が始まりました。整列してますます緊張する私に、隣にいた快寿君が「頑張れ」と声をかけてくれました。その一言で少し気持ちも軽くなりました。そして、その後の返事やラジオ体操、全校生への指示は、堂々とできました。だから快寿君にとっても感謝しています。

その後に出場した競技「大玉大競争」や「鼓笛」、「上学年リレー」などすべて楽しくできました。今年是最初で最後のアリーナでの運動会はとてもいい思い出になりました。

※ 子どもたちの様子を随時須二小のホームページにアップしています。是非ご覧ください。